

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号		4071401188	
法人名		医療法人 康整会	
事業所名		グループホーム ツーハーツ	
所在地		福岡市早良区次郎丸5-18-28	
自己評価作成日	平成22年11月22日	評価結果確定日	平成23年1月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体の整形外科医院の協力の下、入居者の残存機能維持・向上に向けたリハビリを定期的に行っている。
各ユニットに看護師を配置し、医療機関との連携を図り終末期ケアにも対応している。
運営方針のひとつでもある、一人一人の個性を大切に、寄添い、見守りを行いながら、ゆったりとした生活が営めるようにケアを実践している。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会 介護サービス評価センターふくおか
所在地	福岡市中央区荒戸3丁目3番39号 福岡市市民福祉プラザ
訪問調査日	平成22年12月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

〔セル内の改行は、(Alt+Enter)です。〕

自己評価および外部評価票

ユニット名: そよかせ

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
.理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設玄関、ユニットに掲示し、朝礼時に読み上げ各スタッフ共有し実現している。各自名札と一緒に携行している。			
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との繋がりのため、公園掃除、夏祭りへの参加をしている。地域のボランティア団体の訪問を受け演芸を楽しみにしている。			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議を通じ施設・認知症の説明をし理解が得られるよう取り組んでいる。中学生の職場体験を受入れ、若年層にも介護の理解が得られるよう取り組んでいる。福岡市の依頼にて建築協定会議のため施設の一部を会場として提供した。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	回を重ねるごとに意見交換も活発に行われるようになり、結果を業務に繋げていけるよう努力している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域運営推進会議に市の担当者、地域包括支援センターに案内をし出席していただき意見交換している(市職員はスケジュール調整困難にて欠席)。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修カリキュラムに取り入れ理解を深めている。個々の状態を十分に把握し未然に防ぐ努力をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修カリキュラムに取り入れ理解を深めている。個々の状態を十分に把握し未然に防ぐ努力をしている。		
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員研修カリキュラムに取り入れ理解を深めている。当ユニットには支援を受けている入居者はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項は解り易いように十分な説明を行い理解して頂けるようにしている。グループホームでの医療行為の範囲、受診時の家族の協力についてもは同意を得ている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等を通じ意見、要望をスタッフへ反映できる様に働きかけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	グループホーム会議、職員研修の中で、管理者、職員の意見交換を行い、運営会議において代表者、管理者が話し合う機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務実績、勤務状況、自己啓発により、正社員への登用等、個々の資質向上により勤務条件の向上システムがある。ストレスの軽減が図れるようコミュニケーションを重視している。		
13	9	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢や性別によって採用の可否は決定しない。 できるだけ希望する日に休日が取れるよう配慮した勤務シフトを組んでいる。		
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	職員研修カリキュラムに取り入れ理解を深めている。入居者への尊厳、言葉遣い等、特に気をつけている。		
15		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を毎月開催しスキルアップに努めている。外部研修への参加、資格取得のためのバックアップを行い、個々のレベルアップ、次世代育成に努めている。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修等で他の施設の職員との情報交換や、内部での職員研修に他施設から参加があり、指導助言を頂くことがある。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談の情報及び担当ケアマネージャー等からの情報を入手したうえで家族・本人の要望を取り入れ、安心して介護を受けられるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談の情報を基に、家族が望んでいることをよく理解し、連絡・相談をしながら信頼関係を築けるように努力している。		
19		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	併設事業所のケアマネージャーへ相談し、アドバイスを受け早期対応を心掛けている。		
20		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	茶話会、食事に同席し、対話を一緒に楽しむことで馴染みの人になるよう努めている。		
21		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活状況を面会時に報告したり、通院、外出を依頼し、家族と共に過ごす時間を確保できるように努めている。		
22	11	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と外出し馴染みの場所や食事に行かれる。友人の面会は個人のプライバシーもあり、入居時に友人の訪問の可否を家族に確認しておき対応している。		
23		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	演芸ボランティア等、催し物に参加され、歌詞カードを一緒に見て歌う等の光景がある。		
24		○ 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居後であっても、何時でも相談等対応可能であることを説明している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、困難事例には話し合い、本人本位の考えで意見を出し合っている。		
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各々の情報を得ながら、家族から話を伺いこれまでの生活の把握に努め、それらをヒントに新しい環境に馴染めるよう配慮している。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りを徹底し、記録で各々の情報を把握している。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンス、担当者会議にて話し合い、本人・家族の意見・要望を踏まえて立案している。併設事業所のケアマネージャーの助言も取り入れて計画を作成している。		
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、申し送り帳への記録を行い、職員が必ず目を通し情報共有している。良いアイデアは実践に移し、また介護計画の見直しの際の材料としている。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	母体の整形外科医院、併設の特定施設、通所介護事業所等と連携し行事を計画・実施している。また併設の居宅介護支援事業所のケアマネージャより介護計画書に指導を受け、よりその人らしい生活が送れるように計画を立案する。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域運営推進会議へ地域住民、民生委員、包括支援センターを招き意見交換を行っている。地域住民より防災時の協力体制等の話も頂いており現在検討中である。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の意向によりかかりつけ医の受診を家族の対応にて実施。対応困難な場合は通院介助、送迎の援助を行っている。		
33		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	各ユニットに看護師を配置し健康状態の把握に努めている。勤務外でも常に連絡が取れる体制にあり、指示が得られるようにしている。他ユニット、併設事業所の看護師との連携もある。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に訪問し、関係者と情報交換を行い入退院のフォローを行っている。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期になっても慣れ親しんだこの施設で...と希望される家族も多くなっている。その際には、施設でできる行為を十分に説明し同意を得て、対応している。また、母体の医療機関の医師へ情報提供を密に行い、医師と家族の話し合いの場を設けている。		
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防機関より人形を借り、施設の看護師が講師となりAED使用、心マッサージ、人工呼吸の勉強会を実施した。 各ユニット、施設全体的な看護師の連携を取り急変時、事故発生時には対応している。		
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施。消火訓練では必ず散水栓を実際に使用して、誰もが有事の際に使えるよう訓練している。 地域運営推進会議にて地域との防災協定の話もあり今後の検討課題である。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に応じた対応を行い、声かけ、傾聴し一人一人のプライバシーを守り、個性を大切にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の中で自己表現、自己決定ができるように促し、選択できるよう配慮している。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決して無理強いするのではなく、拒否があれば話題を変える等、臨機応変に対応し、入居者のペースに合わせている。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容にて、好みの髪型にしている。衣類は家族が本人の好みに合わせた物を用意している。着替えの際には本人が選んだ物を用意している。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に話をしながら食事を摂り楽しめるよう配慮している。後片付け等を手伝う等、入居者が個々の気分に応じて役割を分けている。		
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士管理の下、提供している。治療食の提供も可能。個々の咀嚼状態に合わせた食事形態を提供している。いつでも水分が摂れるようボット、急須を用意している。自分で用意できない人には職員が用意し提供している。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、見守り、一部介助で実施している。夜間は義歯を外し洗浄消毒している。近隣の歯科医院からの往診を受けることができる。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表に記録し、個々のパターンの把握に努め、トイレ誘導、介助を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を基本とし、水分、乳製品を多く摂ってもらうようにし、また体操で体を動かすことで排便を促すようにしている。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調を考慮しながらゆっくりと入浴して頂く。拒否の場合は声かけの工夫、時間や入浴日を変更して対応している。		
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リネン交換、ベッドメイク、換気を行い、快適な空間を用意し安心して休めるよう配慮している。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方日に薬剤師管理の下、整理し、服薬時には、薬袋の日付、名前を確認したうえで誤薬が無いよう援助している。		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中に歌やゲームの時間を設け、楽しめる活動を提供している。本人の意思によって参加され、無理強いはいしないよう配慮している。 気分転換に花壇へ散歩に行くなど閉鎖的にならないように配慮している。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣へ散歩や季節の花を見に出かけている。家族が面会時に外出に連れ出す等協力がある。		
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭は管理者が管理し、本人が所持することはない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら話せない人には職員が話を伺い、本人へ伝えている。年賀状を家族へ出される人もおり、葉書購入、投函の援助を行っている。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられるように、テーブルに草花を飾り情緒的に訴えかけている。		
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	常に気配りをして、リビングのお好きな場所で寛げるように見守りを行っている。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に使い慣れた家具等の持ち込み依頼し、少しでも住み慣れた安心できる環境に近づけるようにしている。		
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分でできることは極力介助せず、見守りを行い、それでも難しいようであれば少しずつ介助していくよう配慮している。		

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○	1. ほぼ全ての利用者の	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	○	1. 毎日ある	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある			○	3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
61	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)		1. ほぼ全ての利用者が	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	○	1. ほぼ全ての利用者が	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
64	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)		1. ほぼ全ての利用者が				
		○	2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				